

週寫眞  
報

編輯局報情  
ン七十・號三十六百二第・日七十月三



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 2

情 報 局 編 輯

三 月 十 七 日 第 二 百 六 十 三 號

寫 眞 週 報



（昭和十一年）三月十七日 第三十六百二第日七十月三

皇土に根ざし  
 風雪に耐へて二百年三百年を  
 今日の日のために  
 生きぬいてきた巨木だ  
 その命を捧げる日の壯絶さを想へ  
 我等その心をくみ、その心に應へ  
 木もて船を造らう  
 皇國の幸をはこぶ船を

「時の立札」は他へ持参との他に御利用下さい

巨木擧つてお召しに應じよう

岡山縣 瀬野 入江 泰吉

岡山縣瀬野木山神社の神木は、國難打開のため軍需資材として擧召する。この大樹は同神社の祭神須佐之男大神のおひげか白生したものとされてゐたものである



# 巨木を召しおての感じ

参道の老杉は地盤を打つて倒れた

「神木が供出された」「五代にわたったあそこ、杉林も供出された」かうした氏子や篤志家および隣村などによる木材の供出は、いま、廣く全国的に行はれておます。いふまでもなく、供出された木材は戦局の進展に伴つてますます必要となつてきた兵器や糧秣、車輛等の資材として、勝つための有力な力となつてお役に立つわけですね。

しかし、この供木といふことは、もうわが國には軍需品の資材となる木がないといふわけではなく、それらの用途に向けられる木材の伐採が到底需要に足りないのです。樺や檜などの特殊材は山奥には相當あるのですが、それを伐つて運び出すのに相當の時日が要る上に人手も多くかゝり、ソレツといふ間に合ひません。

そこで供木運動も運搬が比較的楽にできる屋敷林や公園、神社佛閣の境内林とか、街道の並木、平地林等を伐採することが対象となつておます。

これらは、或ひは父祖傳來のものであつたり、或ひは史蹟名

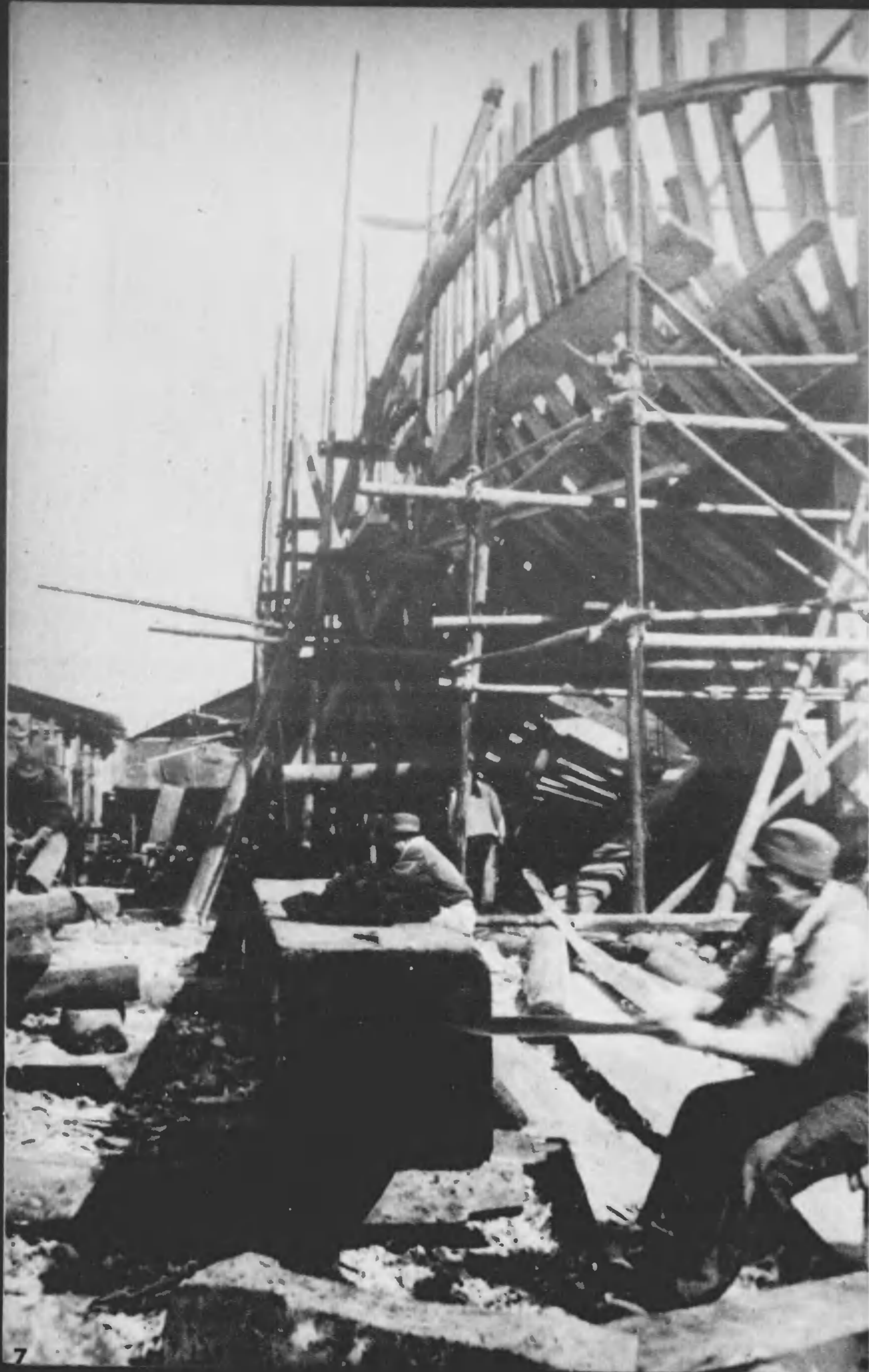


勝天然記念物として由緒ある並木であつたり、平時であれば決して伐れないものばかりでありませうが、一人息子さへお國に捧げるときです。戦力を増すためにこの際、進んで供木に懸きませう。

勝つためだ、村民の決意は固く岡山縣社木山神社の神木が村民歡呼の聲に送られて『應召』しました。

参道並木の伐採は境内の森をそこなはぬために十分な調査が行はれた。樹齡三百五十年の樺も村民の答によつて應召する。





たし水造は船木船標準 1日9つか早も日三りよ完備

長くも 天皇陛下には、戦時下における木船の重要性を思召され、木船材を御下賜あらせられました。聖慮の程、まことに畏き極みであります。このありがたき聖慮に感涙、感泣した政府は、勿論木船建造のため各地の國有林をどしどし伐り出してありますが、さらに全国的に木船用木材供出が國民の盛り上げる力として行はれてゐることはご存じの通りです。からして供出された木材は、直ちに造船材

# 應召の木材は続々木船に

大阪

に使用され、去る一月に戦時標準型貨物船の第一船が大阪で進水してから、続々と標準船が全國の造船所で造られ、各方面の海域に航行してゐます。この大阪の造船所では木材供出者の意氣に感じて、一日でも二日でも早く標準船を造り上げようと、夜に日をついで造船の斧を振つてゐます。次々と進水する木船は敵艦滅戦に、或ひは大東亞の建設戦に、堂々日の丸の旗を押し立てて大洋に乗り出してゆきます。

天を衝くやうに木船の意氣は高く、船の組立も終り、一日も早く海に出る日を待つてゐる。



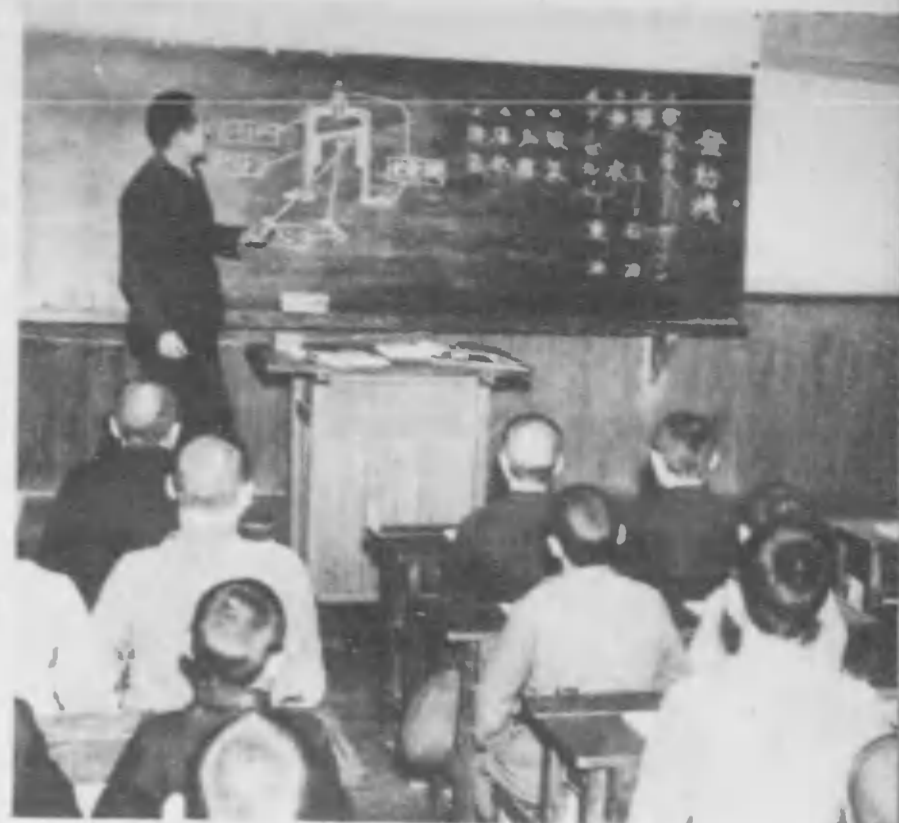
肋骨は次々と組立てられてゆく。船骨は既に揃えられ、これから肋骨が次々と組立てられる。

肋骨に外板をくっつける作業は、寒中もいとすずめられてゐる。

外板のつき目から水がはいらないやうに充填物をつめてゐる。



◁ 今、明日にも役に立つこの練習はうまいものだ



海に育まれ、海に  
 鍛へられる漁村の子供  
 たちにとつて、海はわ  
 が家の存亡のともであ  
 り、自分たちの教室で  
 あり、遊戯場でありま  
 す。神奈川県足柄下郡  
 幅浦村の国民学校で  
 は、かぎこた子供たち  
 に水産の實習と基礎的  
 な海洋訓練をほどこし  
 て、海の子供を養成して  
 います。子供たちは漁  
 場の忙がしい時にはお  
 父さんの仕事のお手伝  
 いをします。そこで、  
 それが教室の實習にな  
 るわけです。

◁ 一口以上泳げな  
 ければ、練習は続けら  
 ないといふので、こ  
 ろいふ海の小習者たち  
 は、冬でも海の訓練を  
 休みはしません。今日  
 も先生の話を聞きかけ  
 るうちに、雪まじりの  
 風の吹く堤防を、子供  
 たちは一散に走つてゆ  
 きました。

# に員船9船丸9日し逞

—村浦福縣川奈神—

◁ 久君とこの船はこの費  
 働がついてゐる。皆知  
 つてゐるだらう。先生の  
 解説になるほどあれかと  
 分つた

「乗船！」身軀にびよん  
 びよんと跳込んでゆく。  
 船操縦の實習から操  
 帆操舵をかはりばんこに  
 (上中)



◁ 大謀劃が見事に作られてゆく。これは努力奉仕といふ  
 より子供たちの生活の一部にまでなつてゐる行事だ

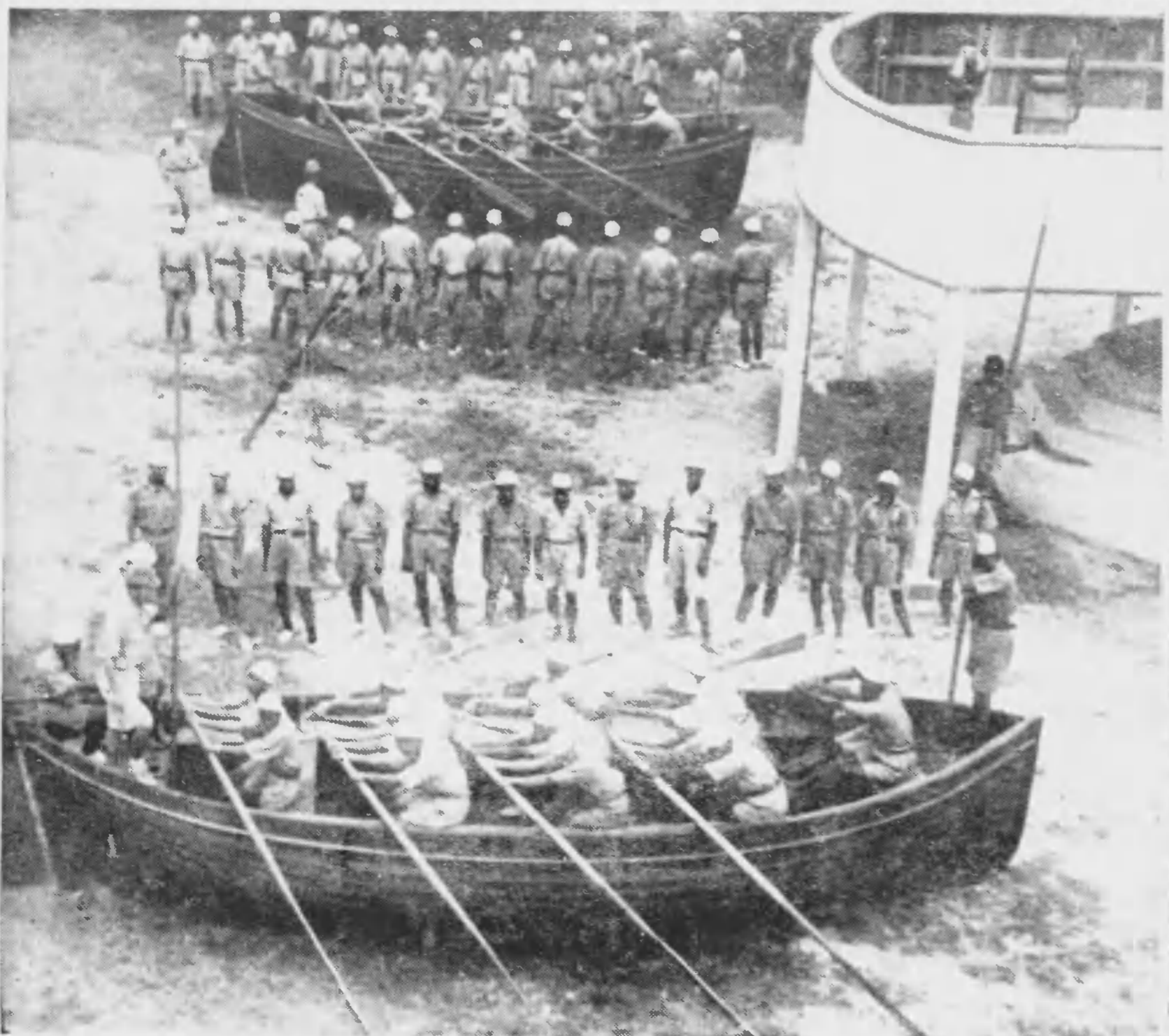




「かうやうに指をまわして、係官の手にあてて、指を細かに閉  
る。身體検査も日本の海軍医官の手にあてて行なはれて



「選り出した者の中には、健全な南の海の手が選りだれて



「八本のオイルもすつかり揃ふやうになり、海上練習を終へ  
て、船は1波を蹴り、いよいよ帰航の途程に出る。日曜日の朝

# 昭南現地船員養成所

員用官船不船月 昭南



↑ 現地船員養成所にて、海軍省の指導による、南の海に必要とする船員養成所。現地の船員養成所にて、海軍省の指導による、南の海に必要とする船員養成所。



大東洋の海を日本の船で押す事となり、いま高  
らかに進んでおられる昭南現地船員養成所。現  
地船員養成所にて、海軍省の指導による、南の海  
に必要とする船員養成所。現地の船員養成所にて、  
海軍省の指導による、南の海に必要とする船員  
養成所。現地の船員養成所にて、海軍省の指導  
による、南の海に必要とする船員養成所。現地  
の船員養成所にて、海軍省の指導による、南の  
海に必要とする船員養成所。現地の船員養成所  
にて、海軍省の指導による、南の海に必要とす  
る船員養成所。現地の船員養成所にて、海軍省  
の指導による、南の海に必要とする船員養成所。





シヤカッタの工場、日の大額紙幣を手に手

# 金貯丸の日もにワヤジ し母頼



昭和十七年度の国民貯蓄の目標額二百三十億は、一、二、三月の第四  
 四半期にまで五十億を凌いでしまいましたが、もう間もなく決算期です。さ  
 ら、もう一息、最後の頑張りで二百三十億を前に突破し、本年度の  
 二百七十億に十分近づいておきましょう。

これは、貯蓄は、内地のみならず、専賣特許ではありませんよ。と  
 いふシヤカッタの頼母といふ使りで、島東の四威に居るシヤワは、  
 「シヤカッタ大東亞」の建設のためにといふ旨い言葉が、現地住民の間の  
 力強い貯蓄熱となつて盛り上がり、シヤワも頼母も貯蓄帳を愛しみに、あ  
 くまで大東亞戦争を勝ち抜き決意を固めてゐるので。

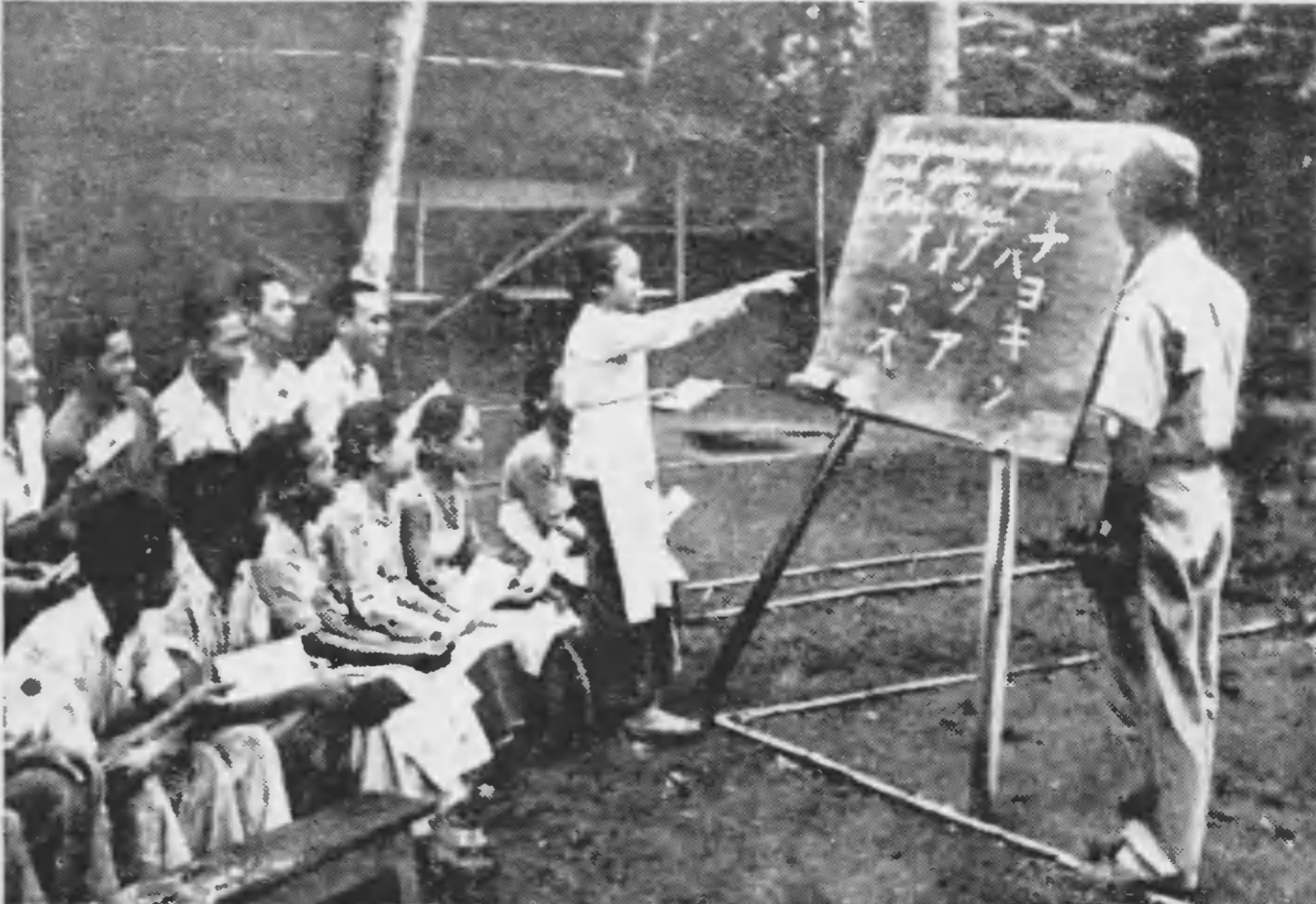
撮影 シヤワ軍報局



天引貯金は苦手だ。とんでもない、シヤワのお友達に喜  
 びで参加してゐます。  
 朝から大繁昌のシヤカッタの貯金局



「チヨキン」ハ「アジア」オオロスハ「キロ」をへたて  
 も「朝」を「朝」に「二」つです







「何もなく、この歩兵の苦境を憂へる...」

「一月二十日、午後四時頃、敵機を三機後送し、たの機会に、副官に意見を述べ、日輪の...」

「一月二十日、明け方本部のみ移動。夜十時、戦線中隊の移動状況を見に出掛けた副官が、かんざしに惹かれて歸ってくる。聴いてみると、第三中隊の兵が三名、移動準備中、口を吹き、鼻をうたたつた、といふのである。軍紀の警戒を傷つけるやうな奴は、と盛んにどなり散らした」

「一月二十日、明け方本部のみ移動。夜十時、戦線中隊の移動状況を見に出掛けた副官が、かんざしに惹かれて歸ってくる。聴いてみると、第三中隊の兵が三名、移動準備中、口を吹き、鼻をうたたつた、といふのである。軍紀の警戒を傷つけるやうな奴は、と盛んにどなり散らした」

「一月二十日、明け方本部のみ移動。夜十時、戦線中隊の移動状況を見に出掛けた副官が、かんざしに惹かれて歸ってくる。聴いてみると、第三中隊の兵が三名、移動準備中、口を吹き、鼻をうたたつた、といふのである。軍紀の警戒を傷つけるやうな奴は、と盛んにどなり散らした」

「一月二十日、明け方本部のみ移動。夜十時、戦線中隊の移動状況を見に出掛けた副官が、かんざしに惹かれて歸ってくる。聴いてみると、第三中隊の兵が三名、移動準備中、口を吹き、鼻をうたたつた、といふのである。軍紀の警戒を傷つけるやうな奴は、と盛んにどなり散らした」

「一月二十日、明け方本部のみ移動。夜十時、戦線中隊の移動状況を見に出掛けた副官が、かんざしに惹かれて歸ってくる。聴いてみると、第三中隊の兵が三名、移動準備中、口を吹き、鼻をうたたつた、といふのである。軍紀の警戒を傷つけるやうな奴は、と盛んにどなり散らした」

「一月二十日、明け方本部のみ移動。夜十時、戦線中隊の移動状況を見に出掛けた副官が、かんざしに惹かれて歸ってくる。聴いてみると、第三中隊の兵が三名、移動準備中、口を吹き、鼻をうたたつた、といふのである。軍紀の警戒を傷つけるやうな奴は、と盛んにどなり散らした」

「一月二十日、明け方本部のみ移動。夜十時、戦線中隊の移動状況を見に出掛けた副官が、かんざしに惹かれて歸ってくる。聴いてみると、第三中隊の兵が三名、移動準備中、口を吹き、鼻をうたたつた、といふのである。軍紀の警戒を傷つけるやうな奴は、と盛んにどなり散らした」

「一月二十日、明け方本部のみ移動。夜十時、戦線中隊の移動状況を見に出掛けた副官が、かんざしに惹かれて歸ってくる。聴いてみると、第三中隊の兵が三名、移動準備中、口を吹き、鼻をうたたつた、といふのである。軍紀の警戒を傷つけるやうな奴は、と盛んにどなり散らした」

# あなたの慰問文は どんなに兵隊さんを 喜ばせるでせう

内地からの便りが、どんなに戦地の兵隊さんを力づけることか。封を切る時の、をどるやうな喜びなど、一寸想像がつかないでせう。雪が消えたことも、土手の櫻が咲いたことも、兵隊さんには途方もない驚異であり、喜ばしいこと、兵隊さんには途方もない喜びです。この兵隊さんの珠玉のやうな喜びの表情を、ごらんになったら、慰問文をお書きなさいと、ことばるまでもないでせう。



## 送れ 心の弾丸 慰問文

省小省信 信軍軍 送陸海大

ふ国日本にありながら、私も銃後の者は、何んといふ安らかな日々を送ることが出来ることとせう。これといふのも、偏へに第一線であらゆる苦役に堪へて日夜放浪してゐる下さる皇軍将士のお話です。私どもは、これらの勇士の方々に、ほんたうに心から感謝しなければなりません。そして、その労苦に酬うためには、私どもが各自の職域でありつづけた力を出して、生産戦を戦ひ抜き、勝ち抜くことが、何よりも大切であります。それと同時に、この感謝、感激を慰問文や慰問袋にあふれる程こめて、前線の勇士の方々に送りますこともまた大切なことで、いやむしろ、私ども銃後の者の当然なすべき責務であるといへます。

**個人宛のもの**

しかし、折角心をこめた慰問文、とくに慰問袋を送つても、地域によつては届かない所もありますから、そこをしっかりと確かめて出すことが肝腎です。次に先づ個人宛の軍事郵便の取扱ひを北の方から説明いたします。なほ、これらはすべて郵便によるもので、航空便は現在扱つていません。

一、アリューシャン方面 陸軍部隊宛のものは、慰問文は取扱ひますが、慰問袋は取扱ひません。海軍部隊宛のものは、慰問文、慰問袋とも扱ひ、また書留も扱ひます。

二、満洲國、支那（香港を含む）方面 陸海軍部隊とも、慰問文、慰問袋は勿論、書留も取扱ひます。

三、南方（タイ、佛印を含む）方面 陸軍部隊宛のものは、慰問文は取扱ひますが、慰問袋は取扱ひません。海軍部隊宛のものは、慰問文、慰問袋は勿論、書留も取扱ひます。

なほ、この慰問文とは、手紙やハガキは勿論、第三種郵便物、書籍、印刷物、写真も含めての話ですから、これらのものもドシ／＼お送り下さい。但し、ハ

# に隊部のワジ く届文問慰

部隊報ワジ 影壇



ガキ一本の慰問文は、まことに味気ないものですから、鉄後の文通はハガキです。慰問文だけは手紙で書くやうにしたいものです。

## 恤兵部宛に

以上は、皆さんが部隊名や名前をご存じの勇士に、つまり個人宛に出す場合のことですが、部隊名も名前も分らない勇士に出す場合には、慰問文なり慰問袋の表に、「アリューシャン方面の海軍の兵隊さんへ」とか、「南方の陸軍の兵隊さんへ」と書いてお出しなれば、郵便局では陸軍省兵部へ郵送し、恤兵部ではこれを前記の取扱地域は勿論のこと、個人宛には送れない所でも、皆さんの希望される方面の兵隊さんにお届けいたします。

尤も、封筒や包装紙が十分ありでしたら、お手数でも、更に別の封筒に入れるなり、包装するなりして、次ぎの所にお送り下さいませませ結構です。東京市牛込区 陸軍省恤兵部 東京市麹町区 海軍省恤兵部



野戦郵便隊 員の活躍



あなたの慰問文は  
どんなに兵隊さん  
を喜ばせてやう

便りをおこいで、久  
しぶりに嬉しいひと  
とき

「はい、おいつも  
どうか一人前にな  
つたな」僕も頭強  
そ、親父からの便り

内地から海山の便り、兵隊さんの心の弾丸だ  
「オニオン、コレモイレナホ」重心に  
こもる愛の嵐がどんなに兵隊さんを喜  
ばせてくれるやう



角の真心こめた慰問品が無駄になつてしまふといつた例も少なくありませんから、ことに慰問袋の包装は、とくに厳重にして、途中で壊れることのないやうに注意下さい。

また、慰問袋（小包）に腐り易い生果物などを入れる方もありませんが、裏面に書いた柿を戦地の息子に、弟にといつたお気持は、まことに涙の出るほど輝くことではあります。ご承知のやうに大東亞戦争の戦場は、北に南に東に西にいよいよ擴大して、内地からの軍事郵便も場所によつては数日もかゝり、その上、空下數十度の酷寒の地もあれば、百五十度を超す炎熱甲斐焦がす所もあり、生果物などを完全に送ることは到底できないこととあります。一つの慰問品が腐つたために、一緒に送つた他の方のものまでが腐つてしまつたといつた例も少なくありませんから、生果物類を慰問袋に入れることは、絶対になさらないやうにお願ひします。

## 普通郵便と電信

最後に、南方占領地域の在留邦人や、原住民宛の普通郵便、電信も、大きいやうな規定で扱つてをりますからご利用下さい。なほ、郵便料は、すべて内地郵便と同様です。

以上でお不便の點がありましたら、最寄りの郵便局か、または東京市麹町区大手町通信省郵務局業務課（電信は電務局外信課）へお問合せ下さい。

取扱地域名	郵便物種別	特殊取扱	用語制限	為替業務
比 港	通常第一種、第五種郵便物に限る	書留	なし	小為替、通
マ 島	料金完納の左の通常郵便物に限る	但し比島、マライ、スマトラ	宛名、漢字、片假名、ローマ字、またはローマ字	常為替
北ボルネオ	第一種 書状	島、北ボルネオ、ジャワ島、及びビルマ宛は第一種書状に限る	通称、日本語、英語、日本語、漢字、片假名、ローマ字、またはローマ字	常為替
ジャワ島	第二種 郵便ハガキ		通称、日本語、英語、日本語、漢字、片假名、ローマ字、またはローマ字	常為替
ビ ル マ	第三種 定期刊行物		通称、日本語、英語、日本語、漢字、片假名、ローマ字、またはローマ字	常為替
南ボルネオ	第四種 定期刊行物		通称、日本語、英語、日本語、漢字、片假名、ローマ字、またはローマ字	常為替
セ レ ベ ス 島	印刷物		通称、日本語、英語、日本語、漢字、片假名、ローマ字、またはローマ字	常為替
セラム島	印刷物		通称、日本語、英語、日本語、漢字、片假名、ローマ字、またはローマ字	常為替
小スンダ列島	印刷物		通称、日本語、英語、日本語、漢字、片假名、ローマ字、またはローマ字	常為替

## 二、電信

### (一) 取扱地域名

(イ) マライ、スマトラ、ジャワ全部  
(ロ) フイリピン、マニラ、マンカヤン、バギオ、サンタクルス、バタンガス、マンブラオ、レガスピ、イロイロ、サンホセ、カバナツアン、ルセナ、ダバオ、サンボアンガ、コタバト、ラオアグ、サンフェルナ

ンド、マロス、ピガン、カランバ、サンパブロ、リバ、パコロツド、セブ

(ハ) ビルマ、ラングリン、モールメン、ベグ、ブルーム、トンダ、ミシギヤン、マングレー、タウンギー

(ニ) セレス、メナド、マカッサル

(ホ) グラム全部

(ヘ) 北ボルネオ全部

(三) 用語 日本語の普通語で、假名またはローマ字

(イ) 料金 (和文料金)

(イ) マライ、スマトラ、北ボルネオ、セレス 五字まで二圓四十銭、五字増すと一圓八十銭

(ロ) フイリピン 五字まで一圓八十銭、五字増すと一圓六十銭

(ハ) ジャワ、ビルマ 五字まで三圓、五字増すと一圓

# 魚おの南



撮影 舟山映画報道班員

昭南近海の漁場では現地の支那人やマライ人が、食糧確保に力を入れている。おすしやおさしみは日本人の大好物ですが、今日では晩餐の食卓に、江戸前の味覚をそめる新鮮なおさしみがあつても間々あります。ご覧のやうに見かけはいさゝか怪物ですが、味は上々結構おいしく食べられます。どこでも船着場は同じこと、景気の良い船着場でどん／＼舟が歸つて来ます。

明けやらの海に朝の収穫がもう網の中で躍つてゐます。



マライ語でイカンゼンギンといふ魚、日本の「あごなし」の一種。インド洋、マライ、南支那海などにわします。一メートルぐらゐの大きさで、なか／＼おいしいです。



マライ語でバリベインといひます。「つかえひの」一種で、背中の皮は軍刀の柄に使はれます。南支那海、東京湾、ベンガル湾などにわします。



マライ語で、カンメツといふ魚。日本の「はたけ」の一種です。味もよく、南洋一帯から海沿いまでわします。大きいのは百斤近いものまであります。



大東亞戰爭漫日誌

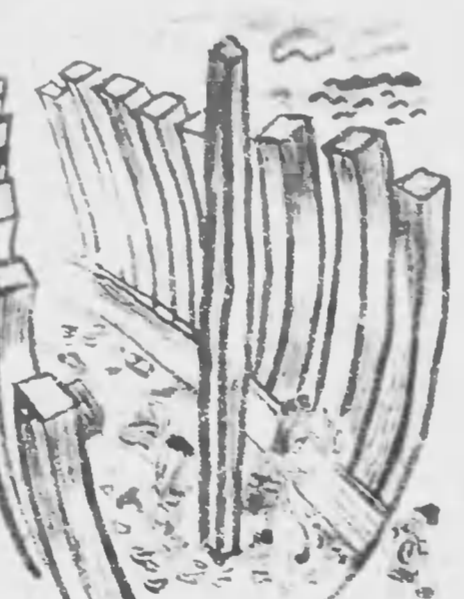


名付け親目を廻す  
森 徳 雄

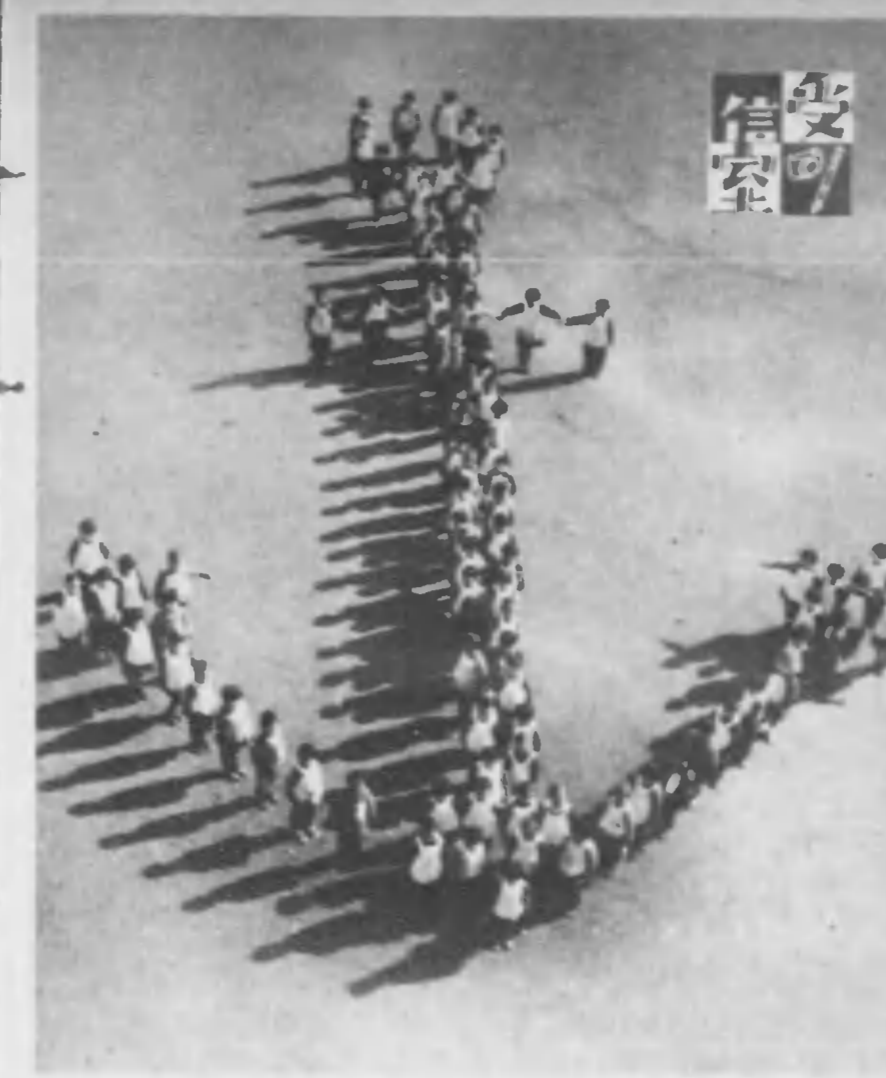


照準器

千人力原石 杉 桂夫



大工の涙



★表紙  
今議會再會勇進に行はれた東條内閣總理大臣の比島獨立實現期待の再宣明は、對日協力を導く汗を流す比島民に一層の決意をうたがした。去る二月八日、マニラ、ルネグ公園にひらかれた大東亞國民大會には希望に燃える市民の趣向を漲らした祝賀行列が市内大通りを行進、觀衆のやんやの喝采を博した  
撮影 比島軍報道部

幼精の繪畫部  
京都市 石東長一 郎  
京都市上京區油小路通にある小川幼稚園で、或る日先生が日本の海軍の勇ましいお働きのお話をして下さつて、大切な軍艦を海山としらへなければなりませんとおつしやいました。コドモたちは幼いながらも鬼のやうな情らしい未来を目前に目茶にやつて驚く大めには皆が「ヨイヨイ」ならなければならぬと、それから軍艦の畫を描いたり、お遊戯にも踊る形を造つて、「月火水木金」を唄ひ、先生がこしらへた軍艦の紙金細に、欲しいものを買つたり貯めたお小遣ひをどつさり貯めて、海軍に送上げることになりました



基地の建設  
日本映画社製作  
南方の敵機基地はわが勇武なる皇軍により次ぎに攻略確定され、その後大東亞共榮圏の理念による新しい建設が着々進められてゐるが、日本映画社の現地製作にかゝる文化映畫「基地の建設」は、さういふ赤蓮直下にある島の一基地での飛行場建設や兵隊の状況を巧みに記録したものである。わが兵隊は次ぎの作戦準備に忙殺されてゐる傍ら、原住民に對して温かい宣撫や行届いた指導の手を盡し、原住民は又わが兵隊に心からなる信頼をよせ、懸命の協力を示してゐる様子が和やかな微笑ましいいくつかの情景と共に描かれてゐる  
なほ本映畫は文部省推薦となり、大國民



寫眞週報 昭和十八年三月十七日 第三十三號



敵も  
必死だ  
かんば水  
貯蓄

# 東海銀行 本店名古屋

寫眞週報  
(兼轉載)

昭和十八年三月  
十七日 印刷發行

情報局

東京市豊島区  
本町一ノ丁目一  
番

印刷所  
内閣印刷局  
東京市豊島区  
本町一ノ丁目一  
番

所 込 申	價 定
全国各地官報 販賣所 書店・轉賣店 新聞販賣店 寫眞材料店	一部十錢 (送料一錢) (外國郵送に依 る場合は送料 夫一部十九錢) ▲預約配達御希 の方は一部十錢 (送料一錢)の割 合を以て前金を 込(御申込みト さい) ▲特大號の場合は 其の都度御申込 金より差額を申 受けます

前號に本誌を  
お読みになつたら本  
誌を前號封筒に送り  
ませう。送料は内地  
と同様で封封あるひ  
は同封にして第三種  
と明記すれば、一部  
一錢です

内閣印刷局印刷發行

(印刷用紙)A4規格定規はより大の書本)